

南アメリカの国を紹介する ～グループで英語プレゼンテーション～

高校 2年 英語表現Ⅱ
「パフォーマンステスト」
資料の活用

ねらい

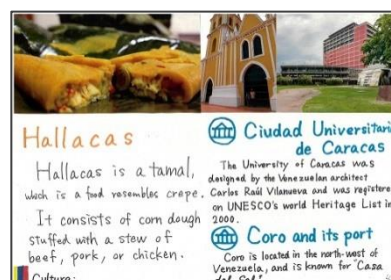
- 普段知る機会の少ない地域・国についてグループで研究し、異文化への関心と理解を深める
- スライドを効果的に用いて、聞き手に伝わる英語で表現することができる

学 習 展 開

- ①担当教員が学習のねらいや授業の計画について説明する。司書が資料の探し方やICT機器の利用についてガイダンスを行う。
- ②南アメリカの8～9の国を、各グループ（5人程度）に割り振り、図書館資料やICT機器を活用して研究を行う。
- ③生徒は研究した情報を整理・分析し、スライドとスクリプトを作成する。
- ④教室でプレゼンテーション発表をする。作成したスライドをプロジェクターで投影して英語で発表する。生徒・教員はルーブリック評価表を用いてフィードバックする。



グループでのリサーチ活動のようす



作成したスライド（例）

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、教科担当教員と事前に打ち合わせを行い、テーマに関する資料を準備する。
- 学校司書は、T2（T3）として、生徒に資料の探し方やICT機器の操作方法を教えたり、個々のレファレンスに対応して、リサーチ活動を支援する。
- 学校司書は、筆記用具等スライドとスクリプト作成に必要な物品の準備をする。

★指導のポイント

- ◆ 自分たちが関心を持った情報について、聞き手も興味を持ってもらえるよう工夫して発表するよう指導する。
- ◆ 内容を精査し、スライドではキーワードのみ提示し、詳細は口頭で伝えられるよう指導する。
- ◆ その都度参考文献を記録し、スライドに明記するよう習慣づける。

資料

『ポプラディアプラス世界の国々』シリーズ（ポプラ社）、『地球の歩き方』シリーズ（ダイヤモンド・ビッグ社）、『すべてがわかる世界遺産大事典』上、下（マイナビ）など、南アメリカ各国の地理・風俗・観光名所等についての資料を提供。